



人々の命と暮らしを守るために 東京五輪の開催中止を求めます

オンライン署名ご協力をお願い

署名のあて先

国際オリンピック委員会 (IOC) トーマス・バッハ会長、国際パラリンピック委員会 (IPC) アンドリュー・パーソンズ会長、菅義偉首相、丸川珠代五輪相、小池百合子都知事、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・橋本聖子会長

現在、国際オリンピック委員会 (IOC)、国際パラリンピック委員会 (IPC)、政府、東京都、および公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、2021年の東京オリンピック・パラリンピック開催を強行しようとしています。

ところが、周知のように東京都のみならず、国内各地、さらには世界各国では今日に至るまで新型コロナウイルス感染拡大はまったく止まっておりません。昨年末から開始されたワクチン接種も、現在のところ欧米などの一部地域で普及しているにすぎず、感染防止の決定打とはなっていません。

命や暮らしを危険にさらしてまで東京五輪を開催するの

このような状況下で、本年7月に東京オリンピック・パラリンピックを安全に開催できると考えることは極めて難しいと言わざるをえません。この状況で開催す

れば、「平和の祭典」であるはずの五輪は、その理念から大いに逸脱することになります。出身国によって、満足のいく準備をまったくできなかったアスリートとそうでないアスリートのあいだに、多大な格差が生じます。また、東京に来たところで、感染のストレスにたえずさらされ、厳しい制限を課せられては、満足のいくパフォーマンスを発揮することは不可能です。

東京オリンピック・パラリンピックを7月に開催するためには、大勢の医療従事者の方々、また医療施設や医療設備などの貴重な資源、その他のさまざまなリソースを割かなければなりません。しかし、すでに各種団体が指摘するように、現在の東京都および日本全体にその余裕はまったくありません。外国からの観客を制限したところで、五輪は大規模な人の移動と接触を引き起こします。五輪によって感染状況が悪化することは大いに

ありうると言えます。

ただでさえ深刻な不足に直面している医療資源を五輪に回すことは、コロナ禍で疲弊する医療従事者の方々にさらに苦しみ、住民および参加者の命と暮らしを危険にさらすことになります。

五輪中止で利用できる資源を人々の命や暮らしを守ろう

また、新型コロナウイルスにより、多くの人々は命を脅かされると同時に、経済的にも困窮を強いられています。とりわけ、非正規雇用で働くことの多い女性・若年層・高齢者の暮らしは、わずか一年たらずで劇的に悪化しました。現在、多くの方が、民間団体の主催する食糧や住居の各種支援に頼って暮らしています。このような状況のなか、五輪の延期にともなう追加費用は3000億円にも上りました（経費総額は1兆6440億円）。

人々の命と暮らしを守ることが自治体の本義であるなら、東京

五輪は一刻も早く開催中止を宣言し、窮乏にあえぐ人々に資源を割くべきではないでしょうか。

国内外から高まる五輪中止の声に耳を傾け即刻中止判断を

すでに国内外での新聞等による各種世論調査では、五輪開催の中止または延期を求める声がいかに多いかが繰り返し示されています。また、国内外のメディア、多くの政治家たち、またアスリート自身も五輪開催を難しいとするとの意見を繰り返し発表してきました。

政府や都、組織委員会がいまだに五輪中止の判断や要請をしていないことはあまりに遅い失策ですが、今からでも東京オリンピック・パラリンピックの今夏開催中止を即刻決断し、五輪中止によって利用可能になった各資源を、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、人々の命と暮らしを守るために向けることを強く求めます。

発起人

宇都宮けんじ

弁護士

1946年愛媛県生まれ。1969年東京大学法学部中退、司法修習所入所。1971年弁護士登録、東京弁護士会所属。弁護士として、クレジット・サラ金問題に早くから取り組み、多重債務に苦しむ多くの人を助けてきた。また、反貧困ネットワーク代表世話人として貧困問題の解決に向けた運動にも取り組んでいる。コロナ禍においては、仕事や住まいを失った方、大学に通えなくなった方々のために、「新型コロナ災害緊急アクション」として支援活動や「大人食堂」での生活相談などを行っている。

東京五輪の開催中止を求めるオンライン署名のやり方



パソコンからやる場合

1. 署名ページにアクセスする

インターネットブラウザ(**Google Chrome** 推奨)を開き、「**change.org/STOPTokyoOlympics**」または「**change.org/p/28685503**」をアドレスバーに入力する。



または

検索サイト(Google/Yahoo!など)を開き、「**オリンピック 署名**」で検索 → 最初に出てくる **キャンペーン・人々の命と暮らしを守るために、東京五輪の...** をクリック



この画面が表示されたらアクセス完了です。

2. 署名者(自分)の情報を入力する

画面右下の **名字** **名前** **Eメールアドレス** にそれぞれ記入し、**今すぐ賛同** をクリック

3. メールで署名を確定させる

あなたの賛同がカウントされるためには、メールアドレスの認証が必要です。
<2で入力したEメールアドレス>宛に送られたメールをご確認いただき、賛同数を増やしましょう。という文言が上部に書かれた画面が表示されるので、メールの受信ボックスを開く



<2で入力したお名前>さん: メールアドレスの認証がされない場合、賛同が取り消されますのでご注意ください。というメールが届いたらそれを開き、メール本文にある赤いボタンをクリック

あなたの賛同を正式にカウントさせるために、こちらをクリックしてください。

4. 署名完了

※「注意」参照

賛同の次にできること **500円でこのキャンペーンを広めるお手伝いをしませんか?** と書かれたページが開いたら、署名完了です。

または

<2で入力したお名前>さん、このキャンペーンにあなたの力を貸してください。というメールが届いていたら署名完了です(メールが届くまでに数分かかる場合があります)。

注意

ご署名いただくと、署名サイトChange.org様から寄付の呼びかけが表示されますが、**宇都宮けんじへの寄付にはなりません**のでご注意ください。また、「**寄付なし**」でも**署名としてカウントされます**のでご安心ください。

スマートフォンからやる場合



1. 署名ページにアクセスする

インターネットアプリ(**Google Chrome** 推奨)を開き、「**オリンピック 署名**」で検索 → 最初に出てくる **キャンペーン・人々の命と暮らしを守るために、東京五輪の...** をクリック



このQRコードを読み取ってアクセスすることもできます。



この画面が表示されたらアクセス完了です。

2. 署名者(自分)の情報を入力する

今すぐ賛同 をタップ
このキャンペーンに賛同と書かれた画面が表示されたら、**名字** **名前** **Eメールアドレス** にそれぞれ記入し、もう一度**今すぐ賛同** をタップ

3. メールで署名を確定させる

あなたの賛同がカウントされるためには、メールアドレスの認証が必要です。
<2で入力したEメールアドレス>宛に送られたメールをご確認いただき、賛同数を増やしましょう。という文言が書かれた画面が表示されるので、メールアプリを開く

<2で入力したお名前>さん: メールアドレスの認証がされない場合、賛同が取り消されますのでご注意ください。というメールが届いたらそれを開き、メール本文の真ん中にある下記の赤いボタンをクリック

あなたの賛同を正式にカウントさせるために、こちらをクリックしてください。

4. 署名完了

※「注意」参照

賛同の次にできること **500円でこのキャンペーンを広めるお手伝いをしませんか?** と書かれたページが開いたら署名完了です。

または

<2で入力したお名前>さん、このキャンペーンにあなたの力を貸してください。というメールが届いていたら署名完了です(メールが届くまでに数分かかる場合があります)。



うまく署名できないときのヒント

- ☐ スマートフォンではなくパソコンを使う。
- ☐ docomoやau、softbankなど携帯電話会社のメールアドレスではなく、パソコンで使用するメールアドレス(Gmail/Yahoo!メール/hotmailなど)を使う。
- ☐ EdgeやSafariではなく、Google Chromeを使う。

署名方法に関するその他のお問い合わせはこちらから

